



5月19日、校外研修の日です。
 まずは、上松技専から徒歩15分の木曽官材市売協同組合さんへ。
 木が山で伐採されてから、市場へ流通するまでの流れや、販売実績の内訳などのお話をうかがった後、桧とサワラをふんだんに使った和室を見学しました。
 とても贅沢な造りです。



材木倉庫は木材の爽やかな香りが立ち込めていました。
 写真は競り体験の様子です。
 覚えてたの指文字で、競っていきます。
 今年度の訓練生の最高落札金額は500万円でした！



木曽官材市売協同組合さんの後に向かったのは、上松町地域おこし協力隊の木工房です。
 上松技専を修了した3名の隊員から、お話をうかがいました。



協力隊として製作している製品や、機械室などを見学。
 様々な樹種のサンプルも用意して下さっており、興味をそられますね。



3か所目にお伺いしたのは、池田木材さんです。製材するところを間近で見学しましたが、あつという間に丸太がスライスされ驚きです。



池田木材さんの木工部で製作されている製品も見学。その場で購入することができ、訓練生も購入していました。今後製作する製品のアイデアにも繋がったのではないのでしょうか。



最後に、木曽森林管理署へお伺いしました。絵巻物「木曽式伐木運材図会」をプロジェクトで鑑賞しつつ、木曽の山から如何にして木材を切り出し、名古屋まで運んだのかを詳しくお話していただきました。機械化以前の木材運搬は、いにしえの人の知恵が詰まった運搬方法且つ、厳しい仕事だったのだと、大変勉強になりました。



森林管理署の職員の方から、松の実が乗ったお手製クリップをいただきました。可愛らしいですね。いい記念にもなります、ありがとうございます。本日、研修を受け入れてくださった皆様、お忙しい中ありがとうございました。